

心耕

話しているのを日本語だとは分らずに解る。
けれど意味は解らん。近頃こんな人が多い。

西光寺の報

今月の行事

●十二日(火) 常例法座 午後二時より
法話担当―住転

●二十四日(日) 公開講座 午後二時より
三時まで
五井駅そばサンプウザー階

●会 八日(金) 午後二時より
いづからで
も始められ
ます。

●会 二十日(水) 午後六時より
いづからで
も始められ
ます。

●会 六日(木) 午後六時より
いづからで
も始められ
ます。

●会 十二日(火) 午前十時半より
いづからで
も始められ
ます。

●草刈り 十日(日) 午前八時より約一時間
御加勢お願いいたします。

●盆 自宅へのお参り 持御連絡下さい。
朝のお勤め

●7月の 盆 希望される方は、西光寺に通
御辰朝 六時半からの
毎日。ごき

又し振りに五井駅の西口へ行ッ

て驚いた。大屋根の鉄の梁に二十

を超える燕の巢。燕の長屋が出来

ているのだ。黒い頭がニツ四ツ出

てる巣をニツニツとめる。下で鳴ッ

ててフン爆弾のニツニツ見舞われ

た人もあるだろう。でも、燕も大

したもんだとい気が先に立ッて

みッのフン害、人の方が我慢した

才奈自然のように思えてくる。蛇

騷動以来西光寺に燕の巢は出来な

い。来年あたり巣を作り回すよう

に何ぞ工夫をしようか。

燕の巣立を見ていて、一度の線

習せしないので一羽勝負の巣立す。

見事に一羽の先陣もなく、先に巣
立ッたにチがまじまじと見ているに
チを催促しに来る。イヤァァァ。

往くも還るも他力ぞと

ただ信心をすすめけり

往還回向由他力 正定之因唯信心

意訳 真宗勤行集 二三頁

他力とは阿弥陀如来のはたらきのことです。往くというのは凡夫が極楽浄土へ参るといふこと、還るといふのは浄土から娑婆世界（この世）へ還るといふことです。信心というのは阿弥陀仏のはたらきを疑いなく信じるということことです。

それは念仏を称えさせていただくということことです。

珍しい潮干狩りがあります。夕方松明をもって遠浅の海に入っていくと立っているのです。日が暮れると松明の灯りに魚が寄ってきます。その魚を網ですくうのです。興じているうちに潮が満ちてきます。たった一人取り残された人がいました。どちらが浜でどちらが沖か見当もつかずにいると鳥の声が聞こえました。声のするほうに浜だと思ひ歩いていくと浜辺に上がることが出来ました。宿に帰って今の話を主人にすると、「浜で啼いてくれてよかったですなあ。沖で啼いていたら今頃命はありませんでしたよ。」「じゃあどうすればよかったですか。」「松明を海に入れるのです。真つ暗にしてじつと目を凝らすんです。やがてかすかに陸の灯りが浮かんできます。それを頼りに帰ってくるのです。」「手元の灯りが周りを見えなくしている。迷うもとなつている。手元の灯りばかりを頼りに生きて死ねばおしまい。寂しすぎるのです。」

阿弥陀如来の謂われを聞くと、人を知り抜いておられること、私のことを知り抜いてあることに頷くばかりです。極楽に連れていくぞと仰って下さること、そして仏になれば極楽にじつとしているのではなく、娑婆に残る縁深い人のもとへ必ず帰り助けとなると誓われてあることを尊く頂くばかりです。

詳しくは十二日に話します。ナンマンダブナマンダブ

意識

一七〇〇年以
上も昔、瞑想を
主に行う瑜伽



行派の人々が、心を深く見つめていきました。この瑜伽行は
今流行りのヨガの語源です。

仏教の縁起の思想を認識作用で説明しようとしたので
す。見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触る。いわゆる五感と言わ
れるものです。それに第六感、意識でいろいろと判断をす
る。時に、意識と五感は現実とずれることがあるようです。
道路に落ちている縄をマムシと勘違いする。

これらは、わかりやすい認識作用ですが、瑜伽行派はさら
に無意識の部分を追求します。様々な思い込みをおこす
第七感末那識、経験の貯蔵庫である第八感阿頼耶識。

時々、事件の判決で責任能力の有無が大きなカギとなる場
合があります。意識して行動したのか、無意識で行動したの
か…。無意識の場合、無罪となる事があります。それは、あ
なたが起こした事件ではないからということですが、仏教
の立場では、無意識で行ったことでもあなたが行ったこと
と受け止めます。これは何も事件を起こした犯人だけが当
てはまるものではありません。



我々の行動にも無意識に行う事がありま
す。つまり、あなたが思うあなた以外もあなた
であり、私が思う私以外も私なのです。私以外
私じゃないわけではないのです。あれ？どつ
かで聞いたような？

東京への車中

昼「こんな所すけ
たくなーい」

夜「東京まホーネ
住みたい」

日「風景、老後耳
にしたい」

仏教用語

こんなところに

身近な仏教用
語を紹介して
います。

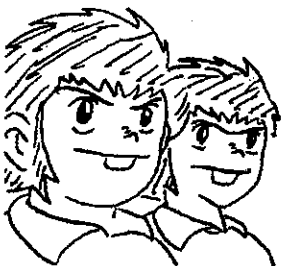
以心伝心



「あいつとは以心伝心。言わなくてもわかるだろう
…」わかっていない場合が多いです。

こころを以て、こころに伝える。主に、禅で用いら
れる言葉です。真理は、言葉や文字で伝えられるもの
ではなく、体験によって伝えられるものであることを
四字熟語で表しました。しかし、これはなかなかでき
ることではありません。曾我量深という仏教学者は、
言葉のいらぬ世界が仏の世界、言葉の必要なのが
人間界、言葉の通用しないのが地獄
と言われました。

言葉がなくてもわかりあえるものは仏様に限って
のこと。人間の世界で、言葉がなくなればそれはすな
わち地獄なのです。地獄の者たちには耳がないよう
です。言うことを聞かない、聞いたふり
をする、右から左へ抜けていく。「あな
た！いつも靴下を脱ぎ散らかすんじや
ない」私も地獄一定住みぞかし



7月の法座案内

12日(日) 定例法座 13:00~15:00

お勤め：正信偈

法話：住職 「往くも還るも他力ぞと ただ信心をすすめけり」
阿弥陀如来のおまかせのはたらきを、住職が話します。

お墓の悩み相談：「墓のパンフレットを作ろう1」
しばらくお墓についての悩み相談をしてきました。今までの相談内容等をまとめ、皆様に配布するパンフレットを作ります。数回かけて完成させたいと思います。

24日(日)公開講座「落語と仏教」

この度、公開講座を開くことになりました。落語と仏教は密接なつながりがあり、期待の二つ目：瀧川鯉輪さんとともに落語を楽しみながら、仏教も親しんでもらえればと思います。公開講座ですので、知り合いにも是非お声がけください。

また、開園20分前には、尺八愛好会の藤井先生の演奏もあります。存分に和の雰囲気味わってください。

日時：7月24日 13:00~15:00
場所：サンプラザ市原 1F i space
会費：無料 予約：不要
嘶家：瀧川鯉輪師



各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、朝のお勤めをしています。主に正信偈を読みます。朝から声を出すことは気持ちがいいものです。

・草取り

毎月第二日曜日 午前八時〜九時

七月一〇日

作業後はゆつたりとお茶会です。草の成長が早くなつて参りました。助太刀よろしくお願いたします。

・写経会

門徒総代の池上さんを講師として写経会をしています。正信偈や阿弥陀経などをゆつくりと進めています。何級、何段といった階級はありません。自分のペースでお経と向き合ってみませんか。いつでもはじめることができます。

婦人会 第二金曜 一三時〜一五時

壮年会 第三水曜 一八時〜二〇時

会費：無料

・壮年会・婦人会主催の勉強会

親鸞聖人の書かれた正信偈や赤い経本をゆつくり進めていく予定です。三島さんを中心として行っています。

壮年会 七月六日(水)、八月休み

一八時〜二〇時

婦人会 七月一二日(火)、八月休み

一〇時半〜一二時

・尺八愛好会

講師は藤井義之師です。初心者大歓迎です。竹製、樹脂製どちらでも可です。

七月は、二四日の公開講座の前に、藤井師の演奏会があります。是非お越しください。

・心耕発送者募集！

毎月皆様のお手元に届けられる心耕。この心耕は、有志の門徒にお手伝いいただき発送をしています。この発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態：三カ月に一度 主に月初めの平日

時間：一〇時〜一二時 特製ランチ付♪

*ワイワイ話しながら、口も手も動かす発送作業。西光寺までご連絡ください。

・門信徒会費 口座振込について

門信徒会費 口座振込の番号です。

ゆうちょ銀行 西光寺門信徒会

00180-0-713424

・熊本地震災害義援金

皆様のおかげによりまして、73,720円(六月下旬)の義援金が集まりました。御協力有難うございます。受付しています。

・お盆参りについて

八月のお盆参りは、心耕八月号に同封されているはがきで、希望日をご記入ください。七月のお盆参り希望の方は、お寺に直接ご連絡して下さい。

・夏の子供会ご案内

待ちに待った夏休み 今年の夏は、勾玉作りやら縄文・弥生文化の体験です。夏休みの工作にもいいかも！

「勾玉作りと縄文カレー」

日時：八月二八日(日) 一〇時〜一四時

場所：西光寺

講師：千葉県教育庁教育振興部文化財課

会費：大人 五〇〇円 子供 無料

締切：八月二一日(日)

内容：勾玉作り、弥生土器に触れる、縄文時代に食べていたであろうカレー、紙芝居

住職多感

草があつという間に茂って刈るのが追い付かない。月に一度加勢をしてもらっていること、本当にありがたい。これから暑くなるので、早い時間にさっと手早く済ませることが大切となる。

熊本・大分の地震、そのあとの水害、そしてまだ雨は降り台風季節が来る。第一回の義援金を贈ることはできたが、これからも支援活動への協力を続けねばと思っている。

広島から来てくれた吉崎師がチベット支援のバッジをいくつか置いて行ってくれた。希望される方にお分けします。

人間であることが嬉しい時があるし、情けない時がある。僧侶であることが嬉しい時があるし情けない時がある。アメリカの歌手・ガガとの対談でドライ・ラマは「混

乱しているとき、まず人間という共通の立場の確認」と云っている。頷けるがなぜか悲しい。中国がなぜドライ・ラマを恐れるのだろうと考えたとき、ドライ・ラマを明鏡としてそこに映る自らの醜悪さに中国は脅えるのだろうとふと思った。根が深い。

原発・憲法・安保を考えて参院選の投票を考えている。でも本音は投票に行きたくないのだ。何処も彼処も誰も彼もが経済成長一本槍だ。福島事故は経済成長の焼石には水にしか過ぎなかつたのかと怒鳴りつけたくなる。

経済成長と国際競争、何を勝ち得ようというのだ。何処に向けて成長しようというのだ。

人間が幸せであるとはどういうことか、金銭抜きで考えてみたらいいのに。

今日も暑い。

八月の行事

○十二^(金)・十三^(土)・十四^(日)日

盆会

本教区 小笠原義宣師

○ぶどう狩り

二〇日^(土)

山梨・勝沼・ぶどう郷

○西光寺子供会

二十八日^(日)

まきたま作りとししかし

・写経会・勉強会はお休み・草刈り七日

発行

浄土真宗本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三一一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP. <http://saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tp1.jp

※各社へのお参りは5日お休みです。